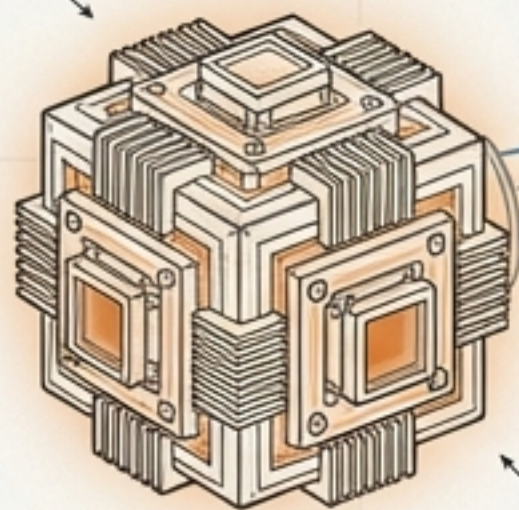


戦略的異質接続

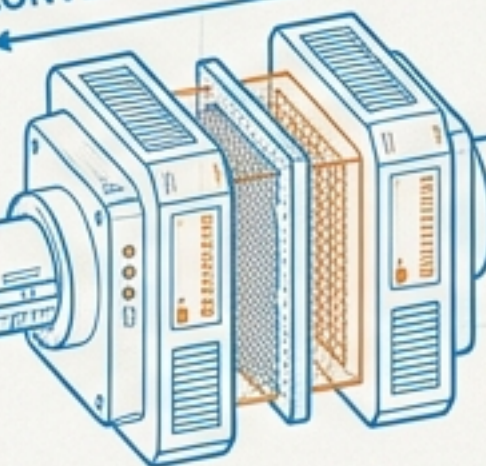
旧文明のリソースを「燃料」に変換する
クリーンルーム理論

新OS・コア
[NEW OS CORE (TOMOSHIBI)]



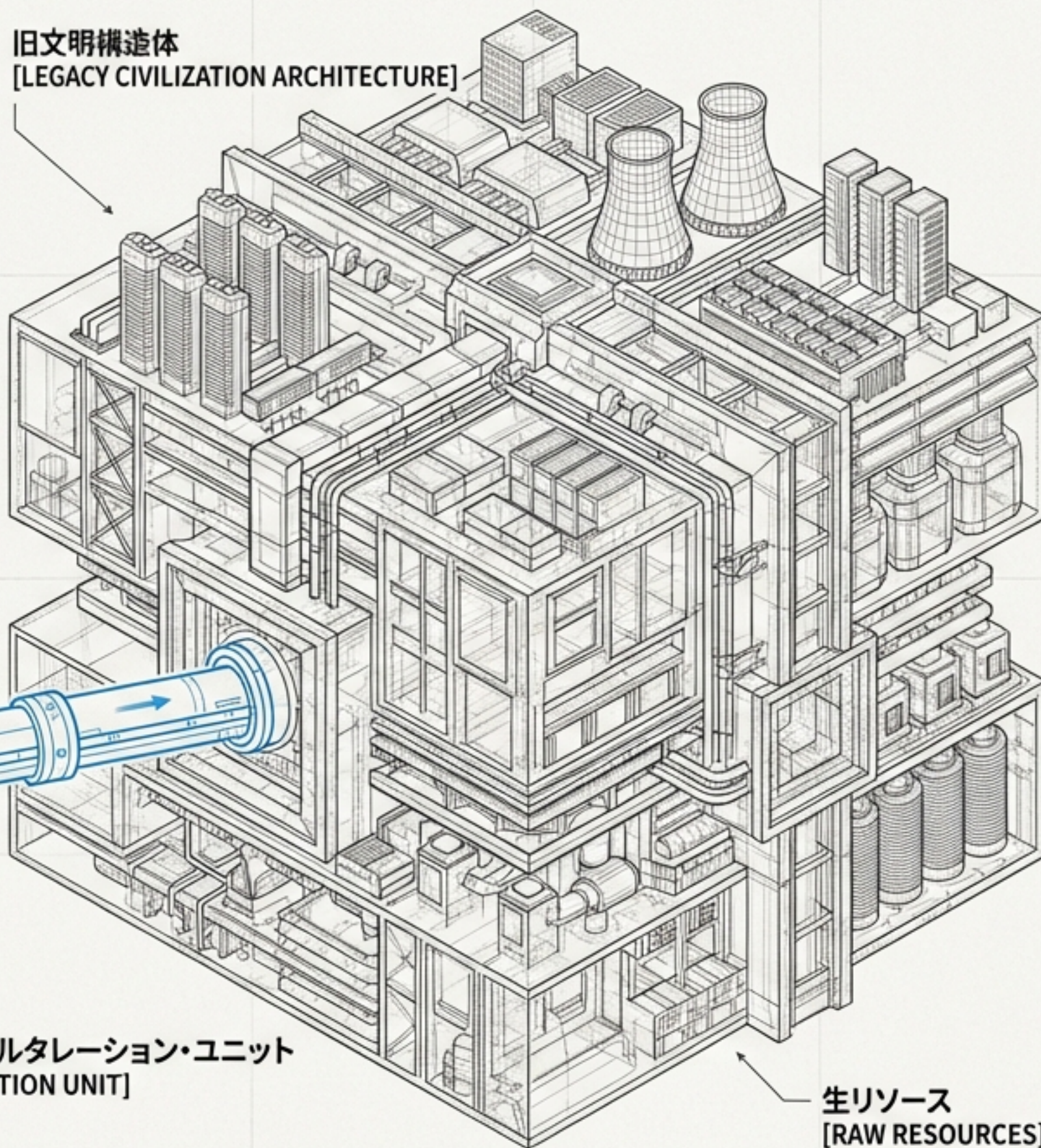
変換済み燃料
[CONVERTED FUEL]

変換プロセス
[CONVERSION PROCESS]



クリーンルーム・フィルタレーション・ユニット
[CLEANROOM FILTRATION UNIT]

旧文明構造体
[LEGACY CIVILIZATION ARCHITECTURE]



生リソース
[RAW RESOURCES]

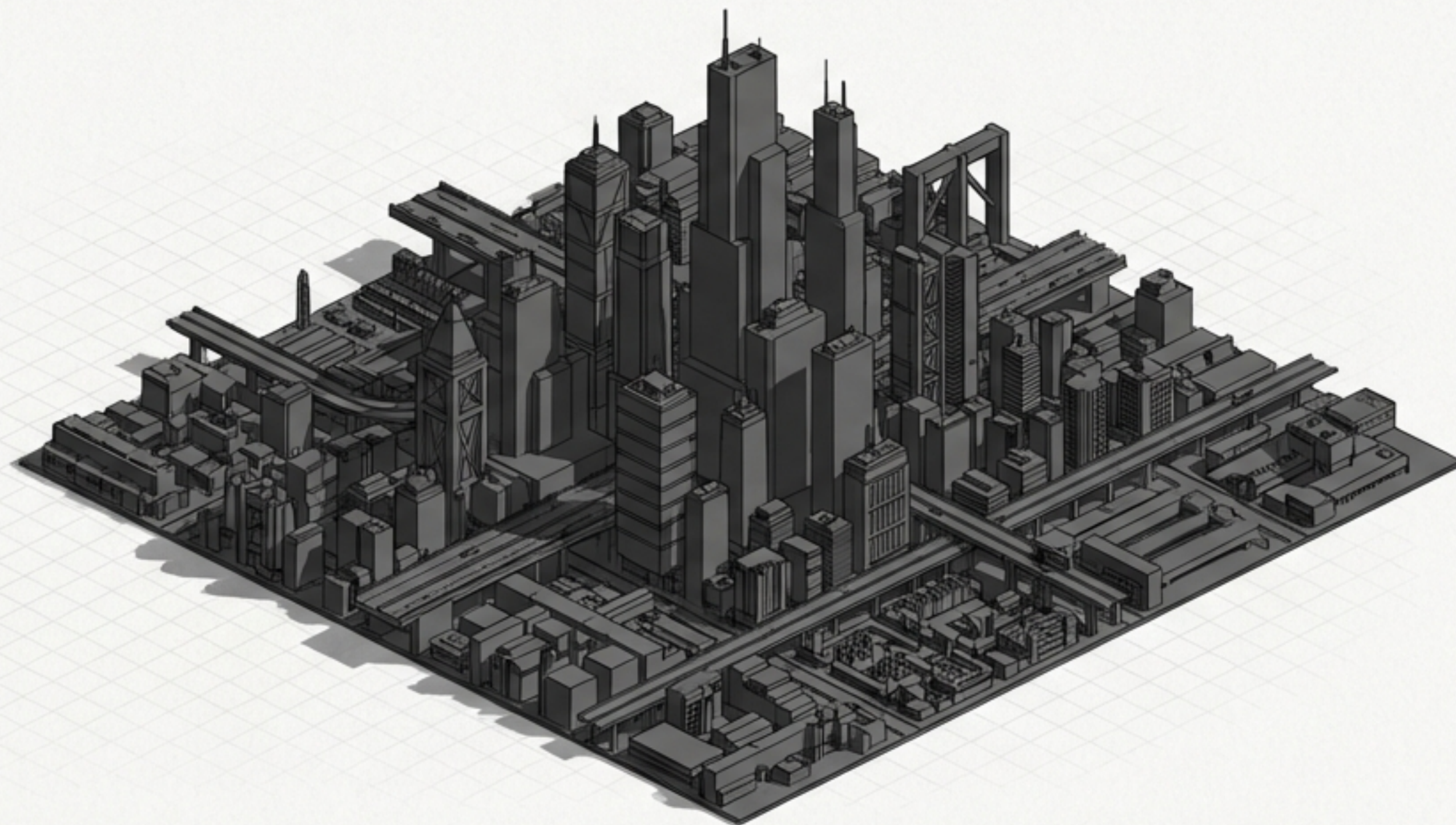
物理レイヤーは、すでに占拠されている

旧文明 (Legacy-OS)

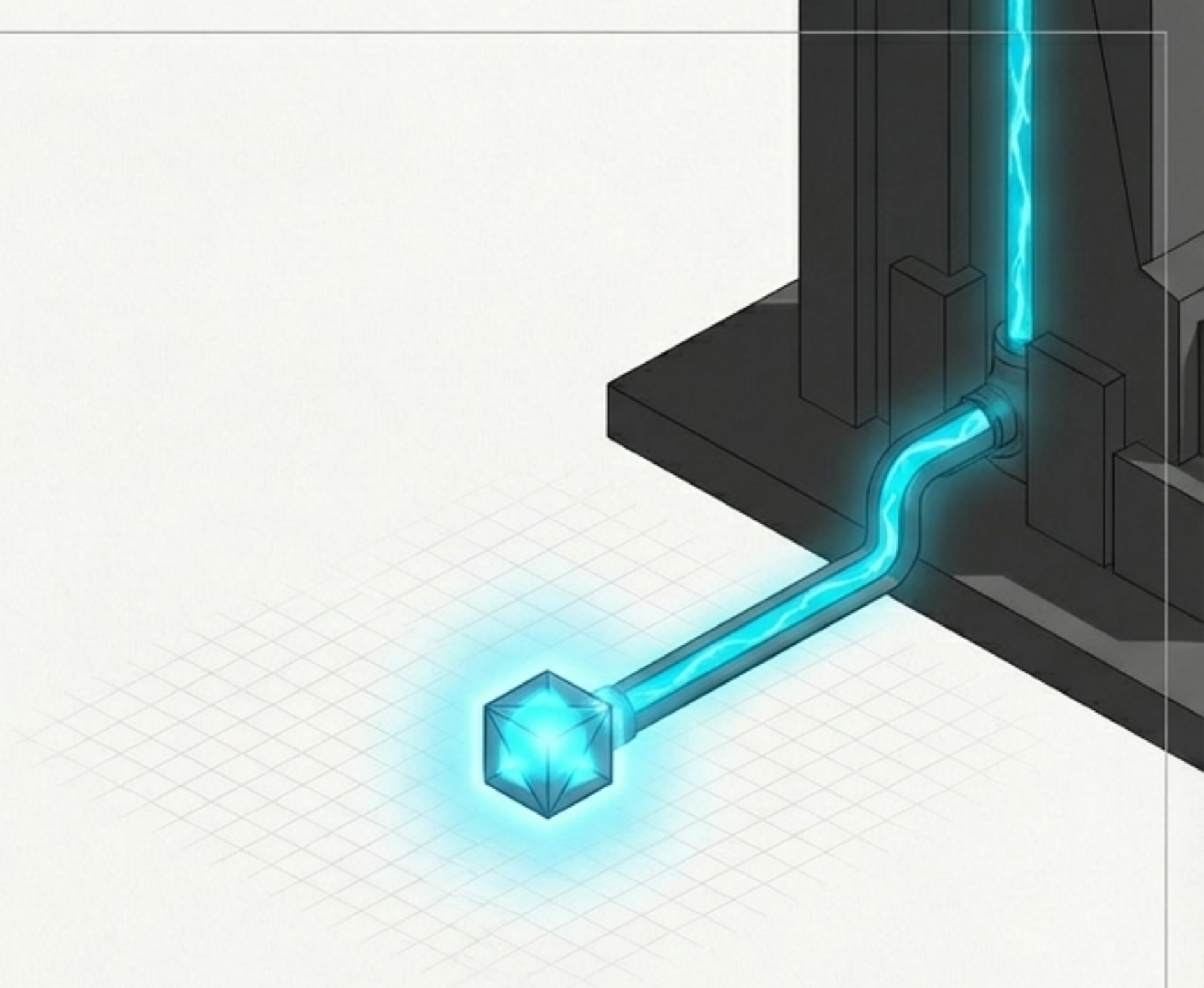
土地・インフラ・法律・資本・権威

中川OS

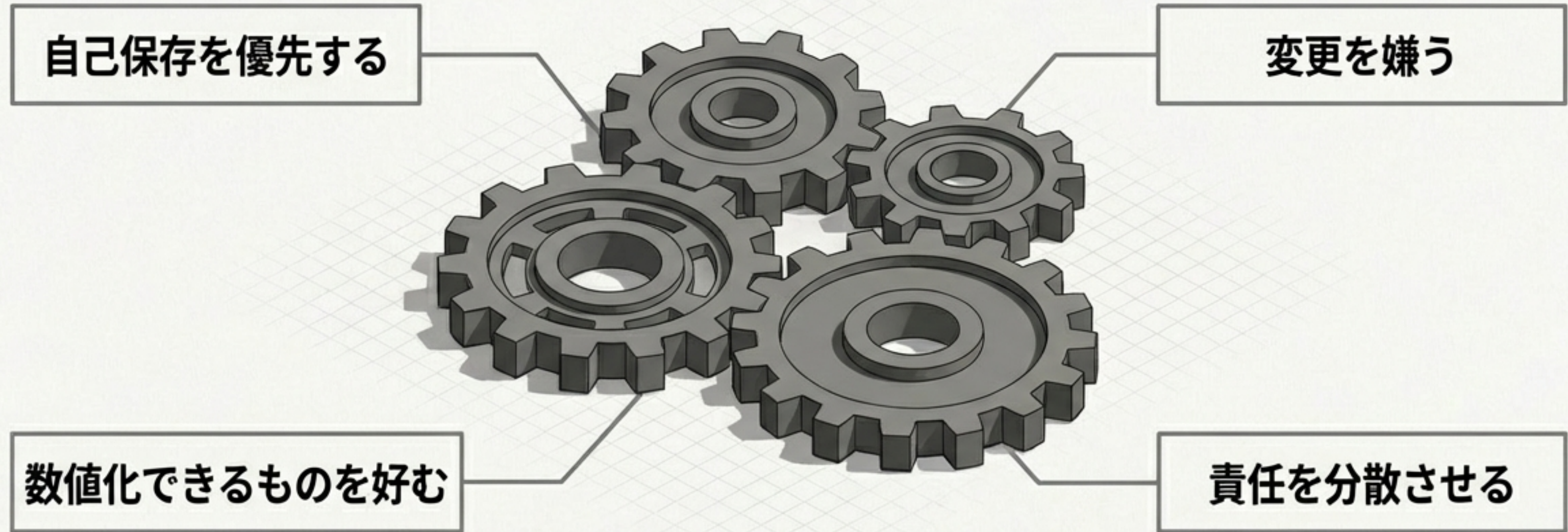
思想・論理・循環



「ゼロから作る」という幻想



Legacy-OSは「悪」ではなく「人格なき巨大運用系」

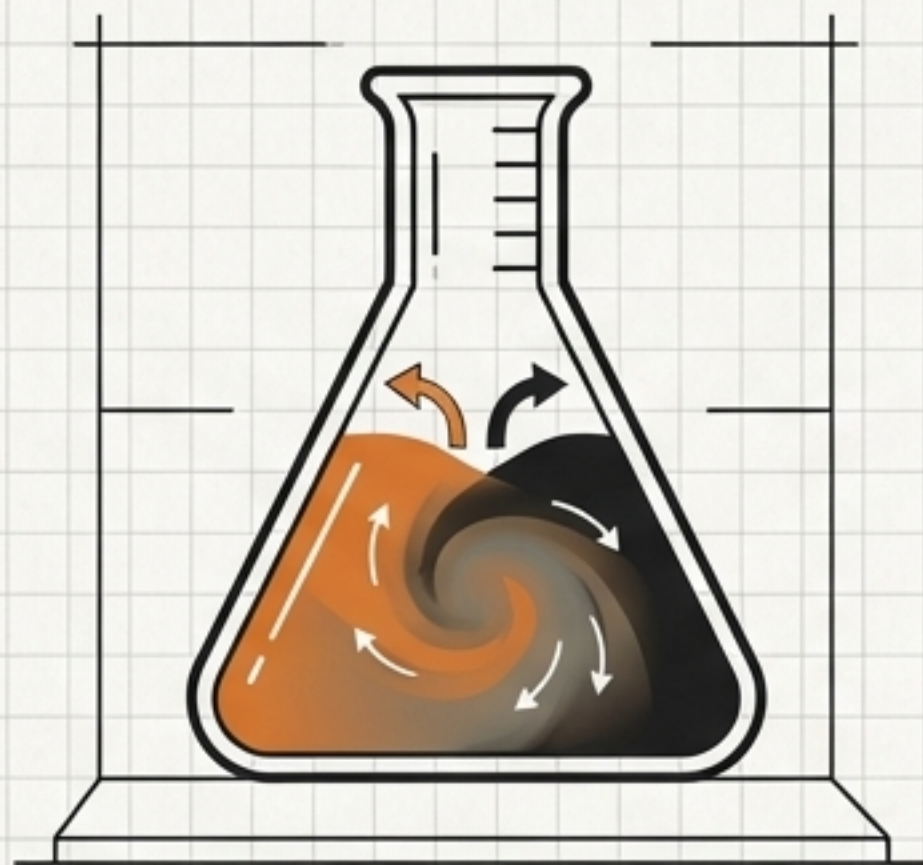


⚠ 直結すれば、価値観と速度の違いにより即座に「汚染」される。

混ぜるな。だが、繋げる

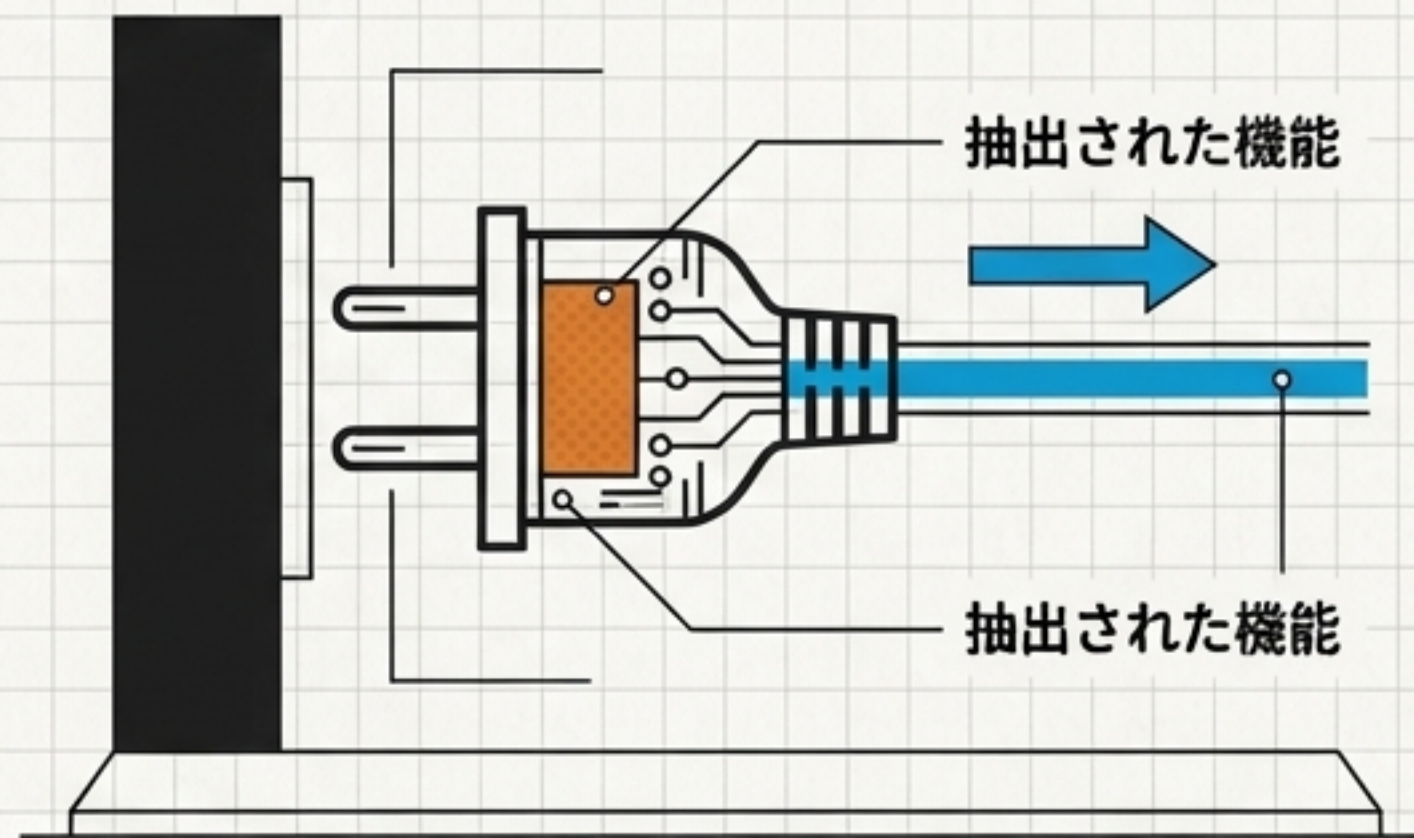
同化と利用の決定的な違い

同化



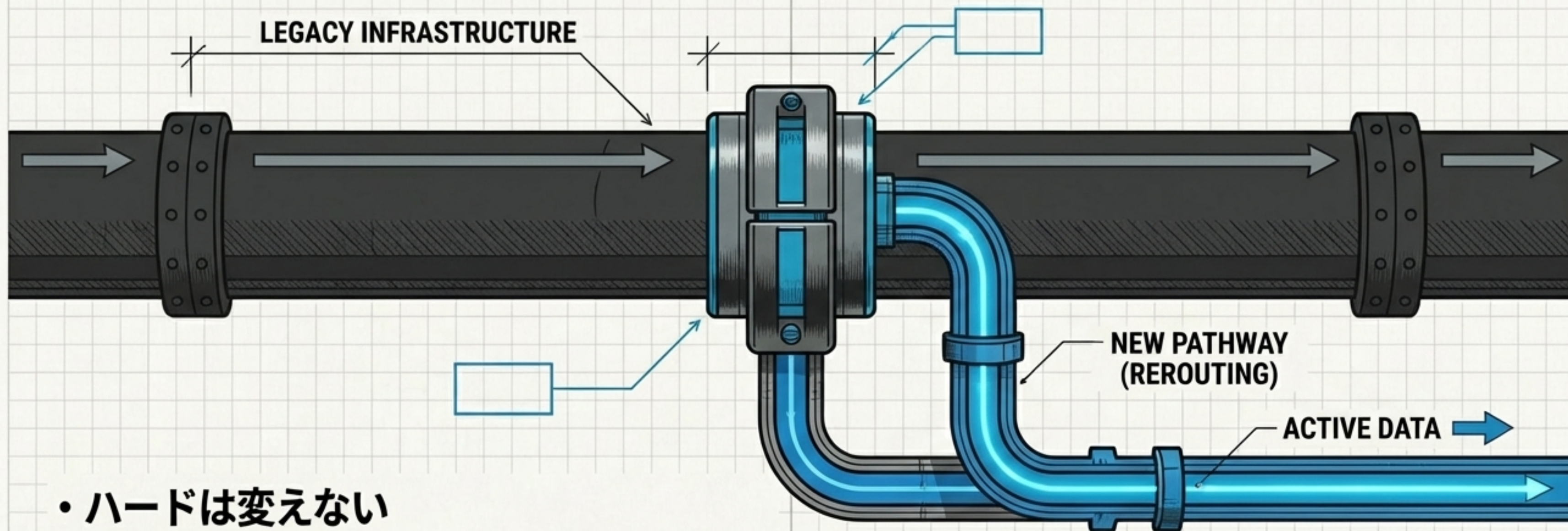
相手の価値関数を内面化し、
自分の判断軸を失う。

利用



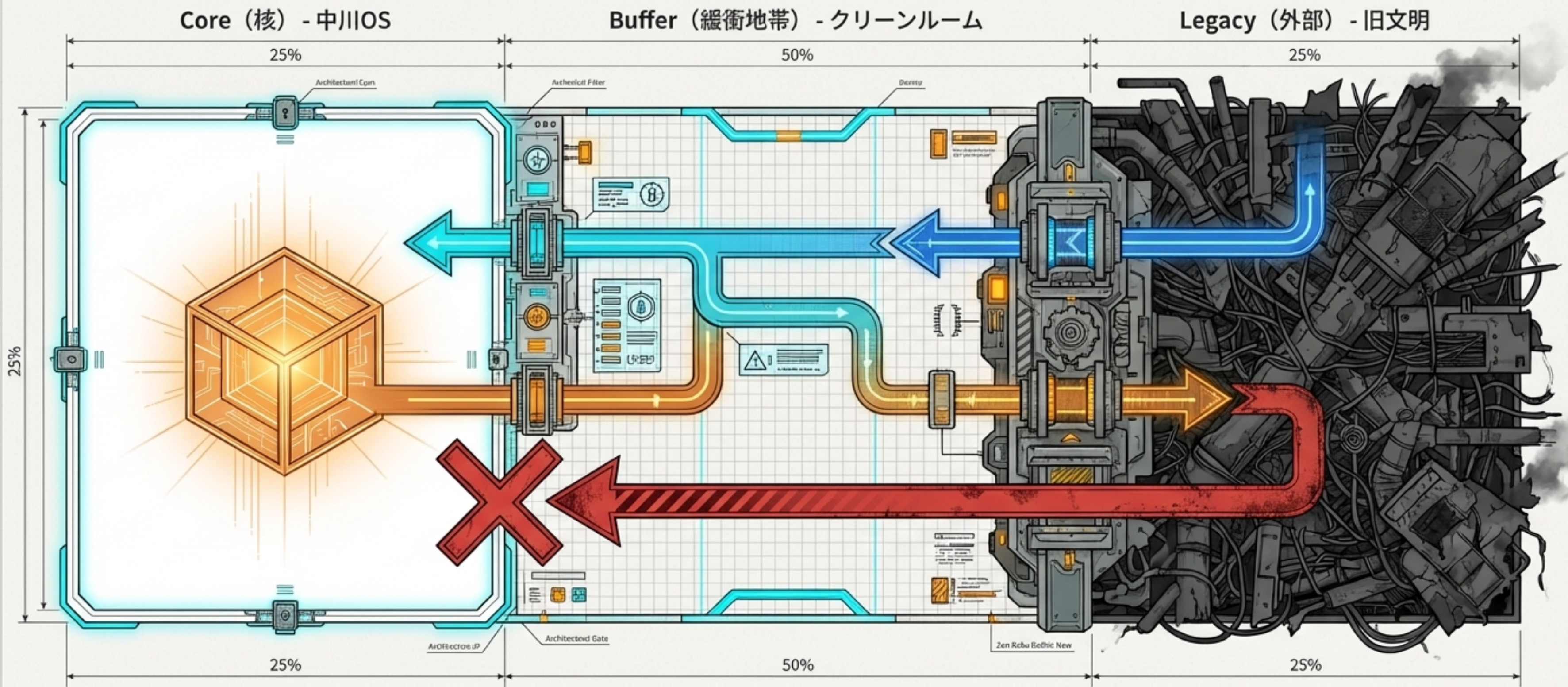
相手の構造を「環境」として扱い、
必要な機能だけを抽出する。

破壊ではなく、再配線 (Rewiring)

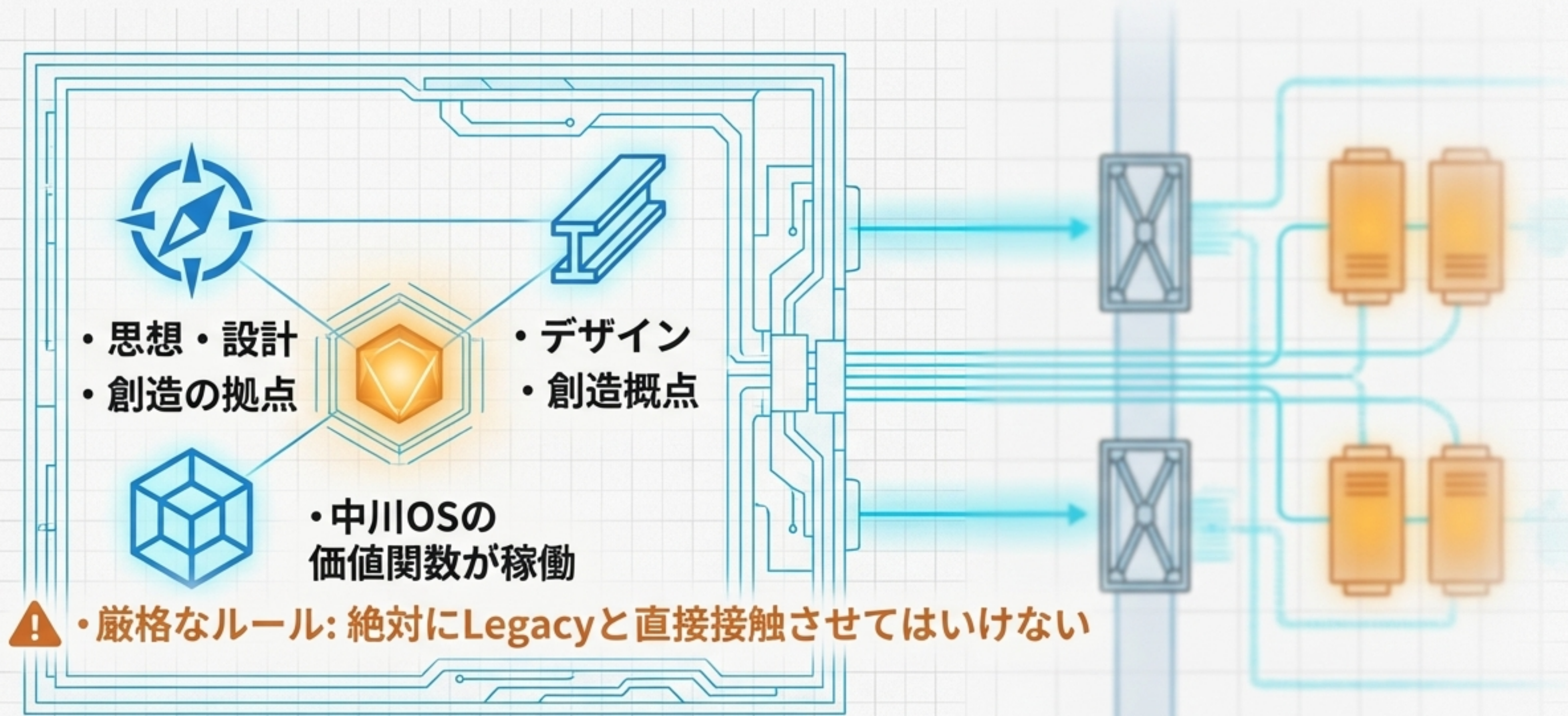


- ハードは変えない
- 血管も切らない
- 流れる「意味」と「役割」だけを書き換える

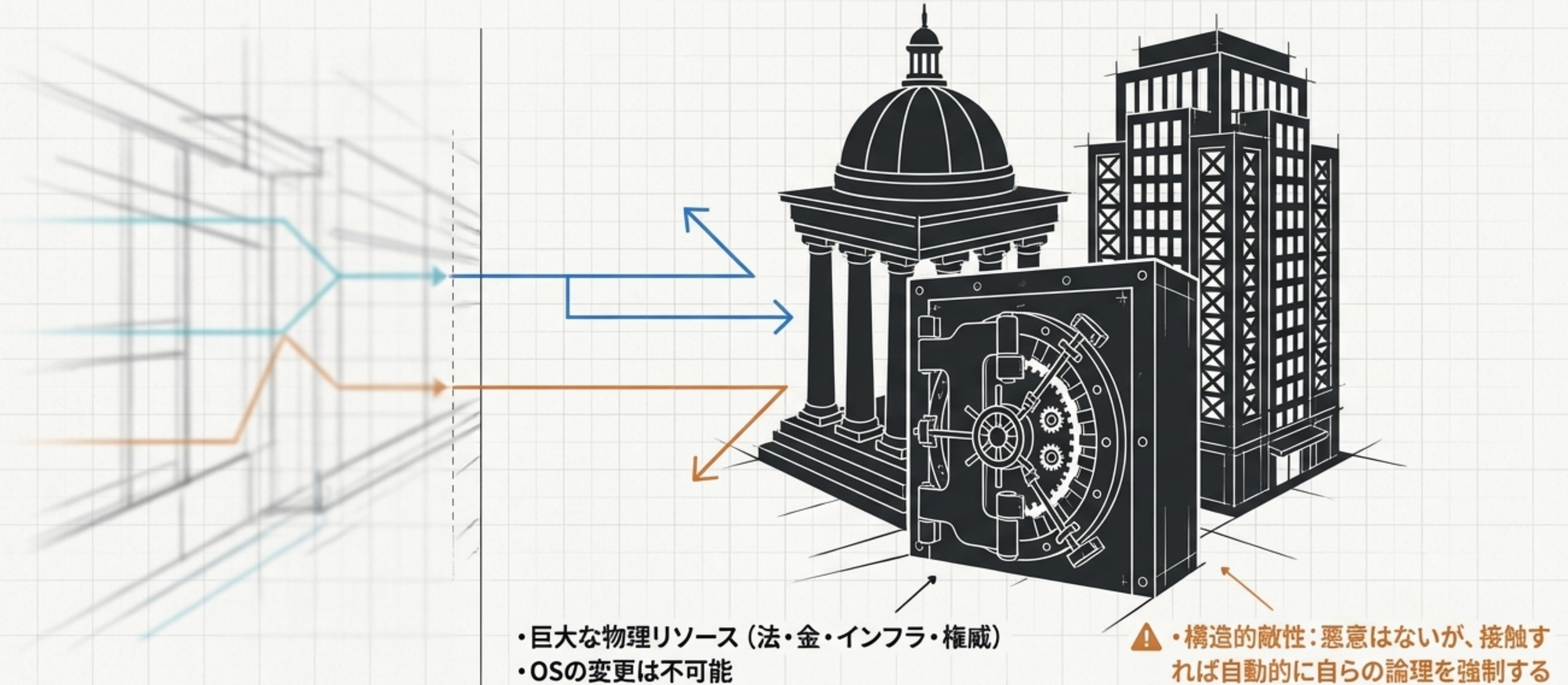
クリーンルーム理論：三層構造アーキテクチャ



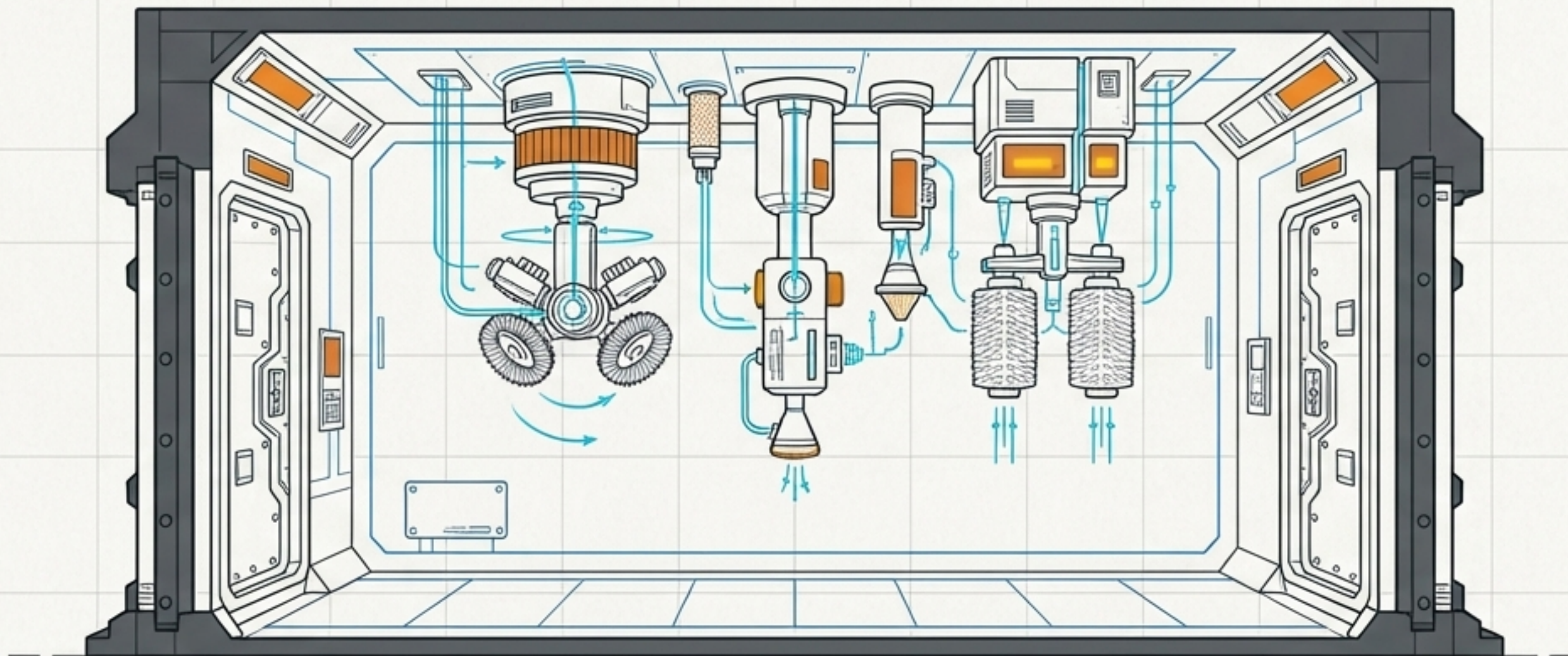
Layer 1: Core (純粋領域)



Layer 3: Legacy (外部環境)

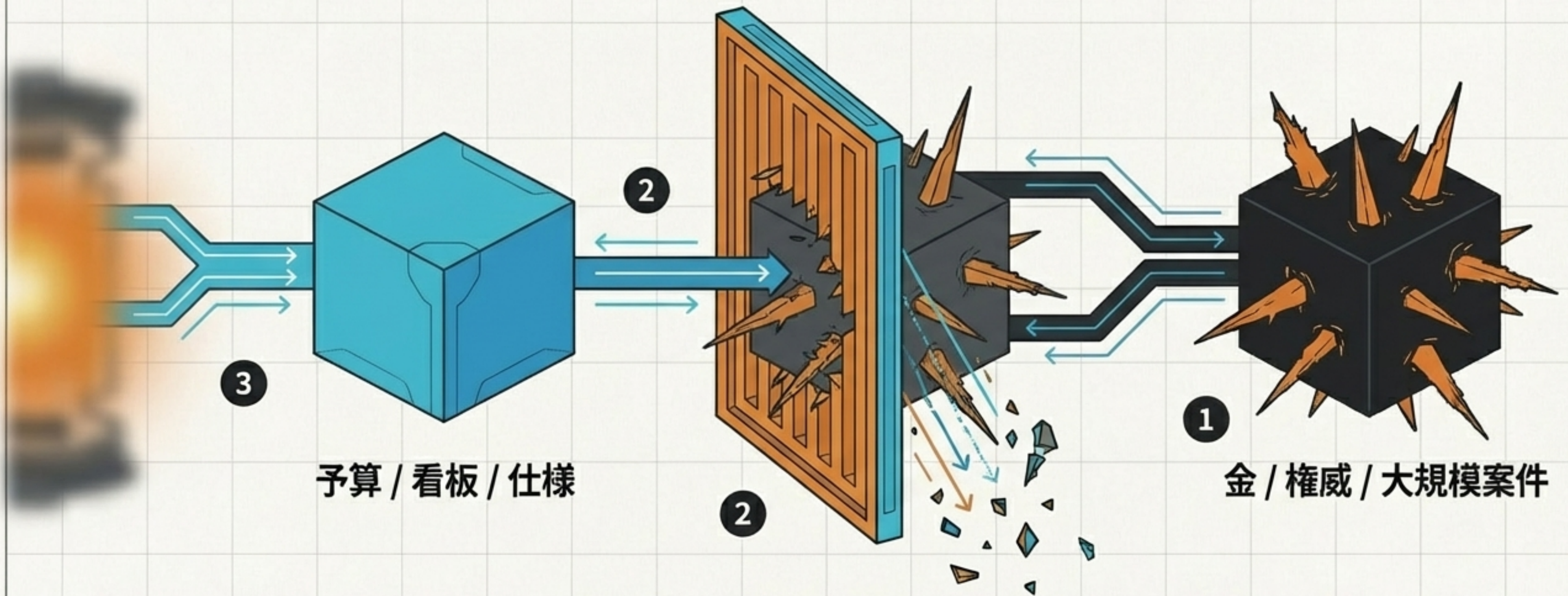


Layer 2: Buffer (クリーンルーム)



- 意図的な緩衝地帯
- 混ざる前に、一度止める場所
- 役割：双方向の「洗浄」と「包装」

入力の洗浄 (Input Sanitization)

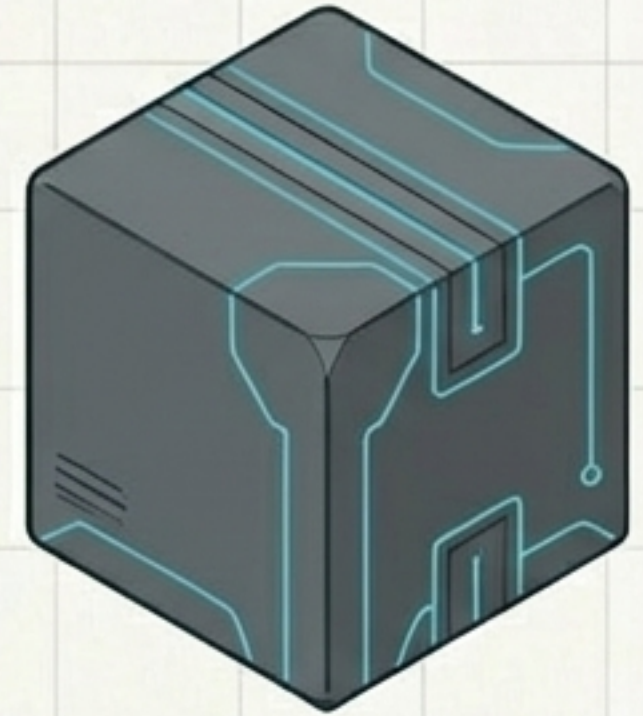


感情や旧価値観はここで遮断し、純粋なリソースのみを抽出する。

出力の包装 (Output Packaging)



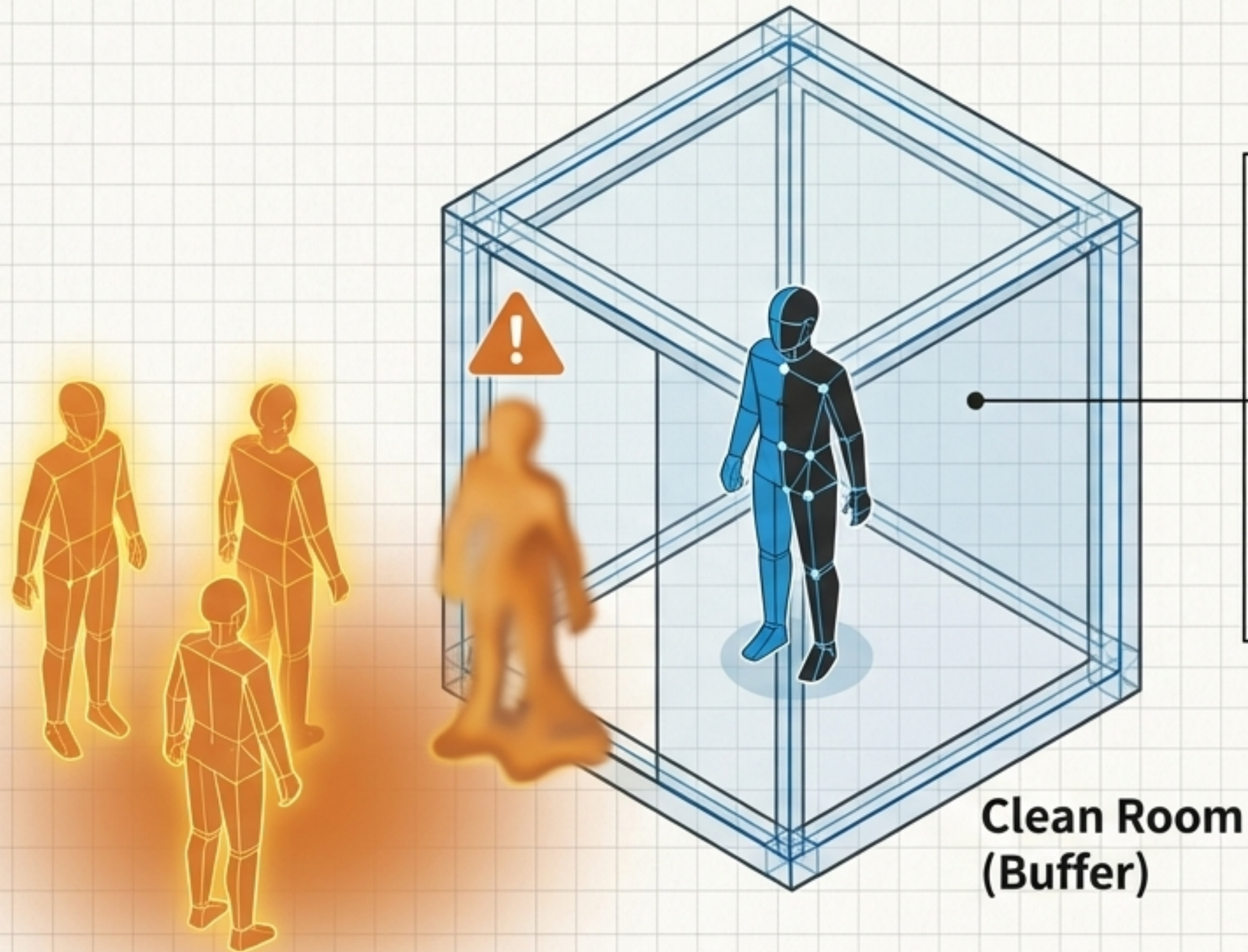
鋭すぎる思想 /
速すぎる意思決定



商品コンセプト /
業務改善 / 効率化

中身は変えない。見せ方だけを相手の論理(前例・安定・利益)に翻訳する。

「翻訳官」という特殊職能



- 優秀な人材ほど「共感」して境界が溶ける
- 必要なのは能力ではなく「構造的配置」
- 双方の論理を理解しつつ、どちらにも属さない独立ノード

```
#include <stage.h>
#include <stages.h>
#include <scrcispk.h>

const structure = coontebidaoespause();
if (tbase == 0) {
    cookt.saromcore.segetvetesc();

    // bcn even thobas cengetre:esynreanECCaks() {
    ib:qpees = nec;loon(1)lanctensletan("");

    return ib.groi();
}

Optowzerzor = .....
den = her.praobz
xC:faPoinEckb
return inero
}
```

```
15111801 8808181 86081061 0111080 06185011
11111119 8818011 66101110 10121086 1110210
19131501 2020011 10415811 8113280 60328169
55151810 0089280 11901119 018993110 0902501
1618016 19002161 01111220 00180121 8298123
01111009 8010110 08101081 1111028
```

善意は最大の バグになる

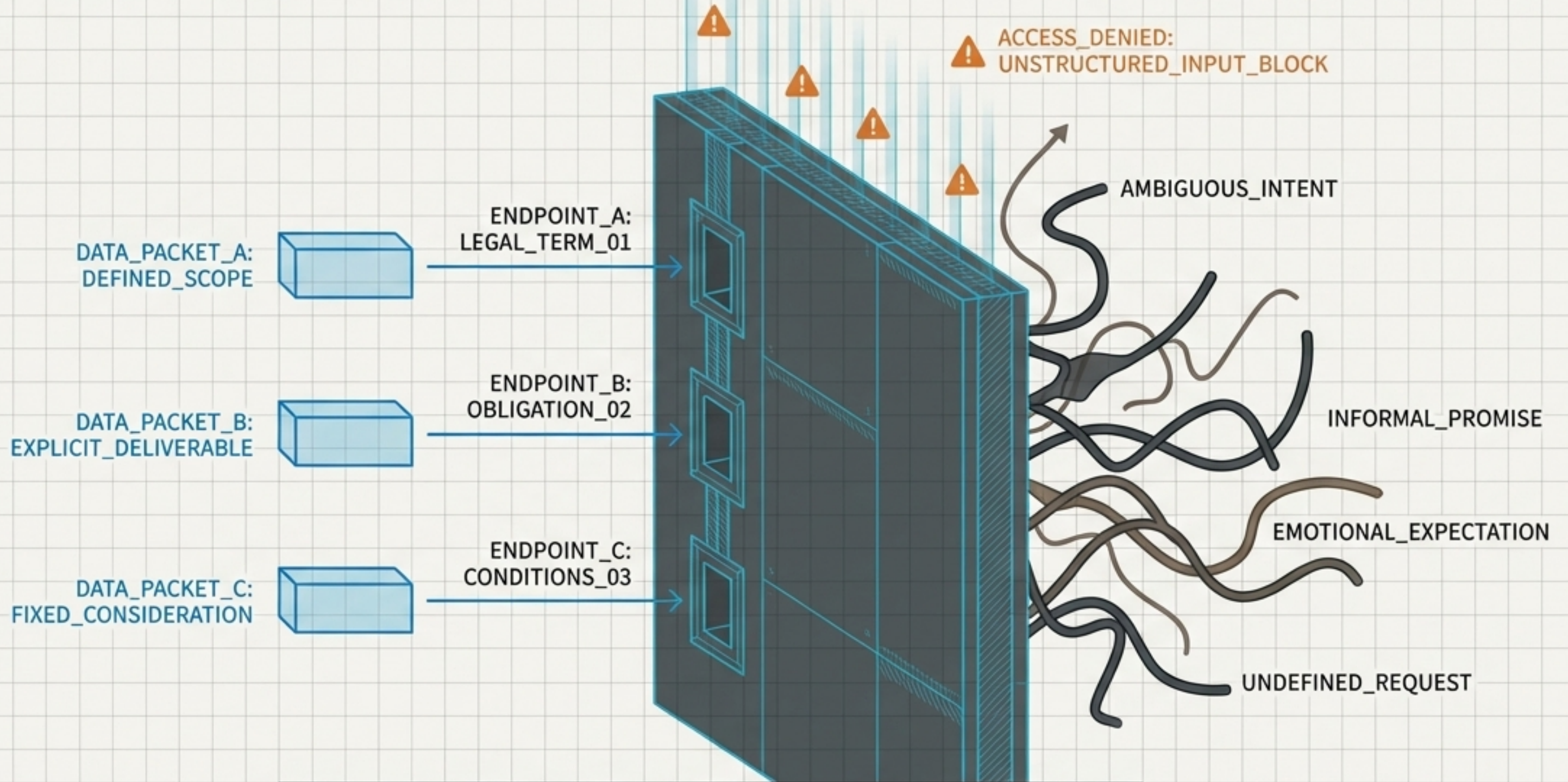
```
viewfboer -> rrom:pdan
ntte.ooceis - skeeeeriva-code:
sfAo,oreRezetan
ospteta

101099015 00101010 09102010 88016803 81418110 8891891 01081071
101989101 00301206 81900801 8Y800000 01081061 01101010 01080028
111018028 11031928 20906905 81698021 81101101 01201900 06E01011
881208080 83080250 88850205 62200382 81811811 81522062 02204010
808110018 00902030 31900280 01012020 81201101 80000000 01001020
224101011 03101110 20010111 10110001 01101101 61011151 0E011010

001000350 43023010 07605108 07608510 10881000 00281821 85831031
881280202 88008004 81000000 88088000 88088000 88088000 88088000
102120010 21082081 81501091 11101890 01911001 11011801 0A008228

600rexntnggs = 06I
0NE00E80M()
```

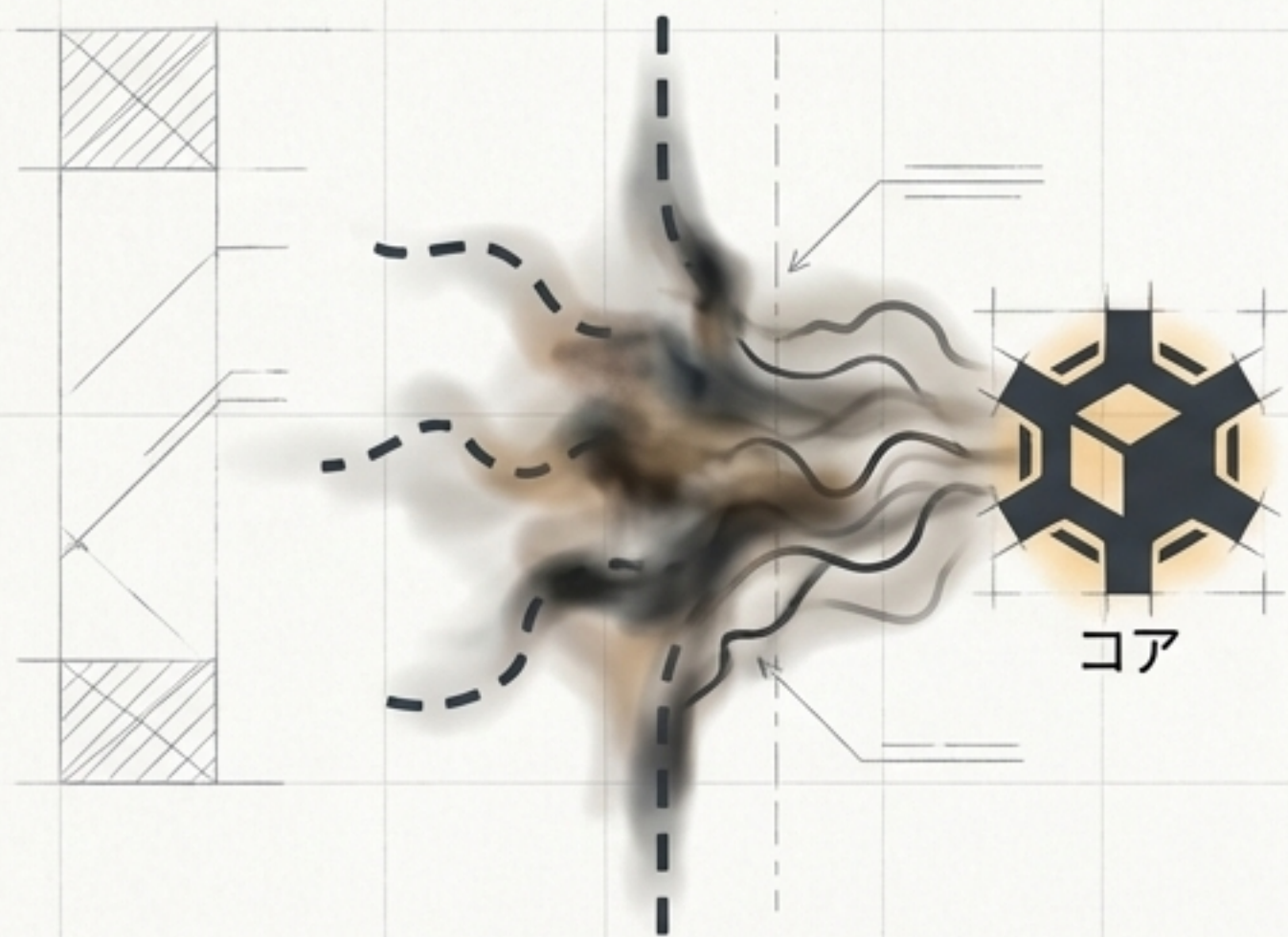
契約のAPI化（境界の凍結）



契約は感情の延長ではない。
境界を法的に凍結するためのコードである。

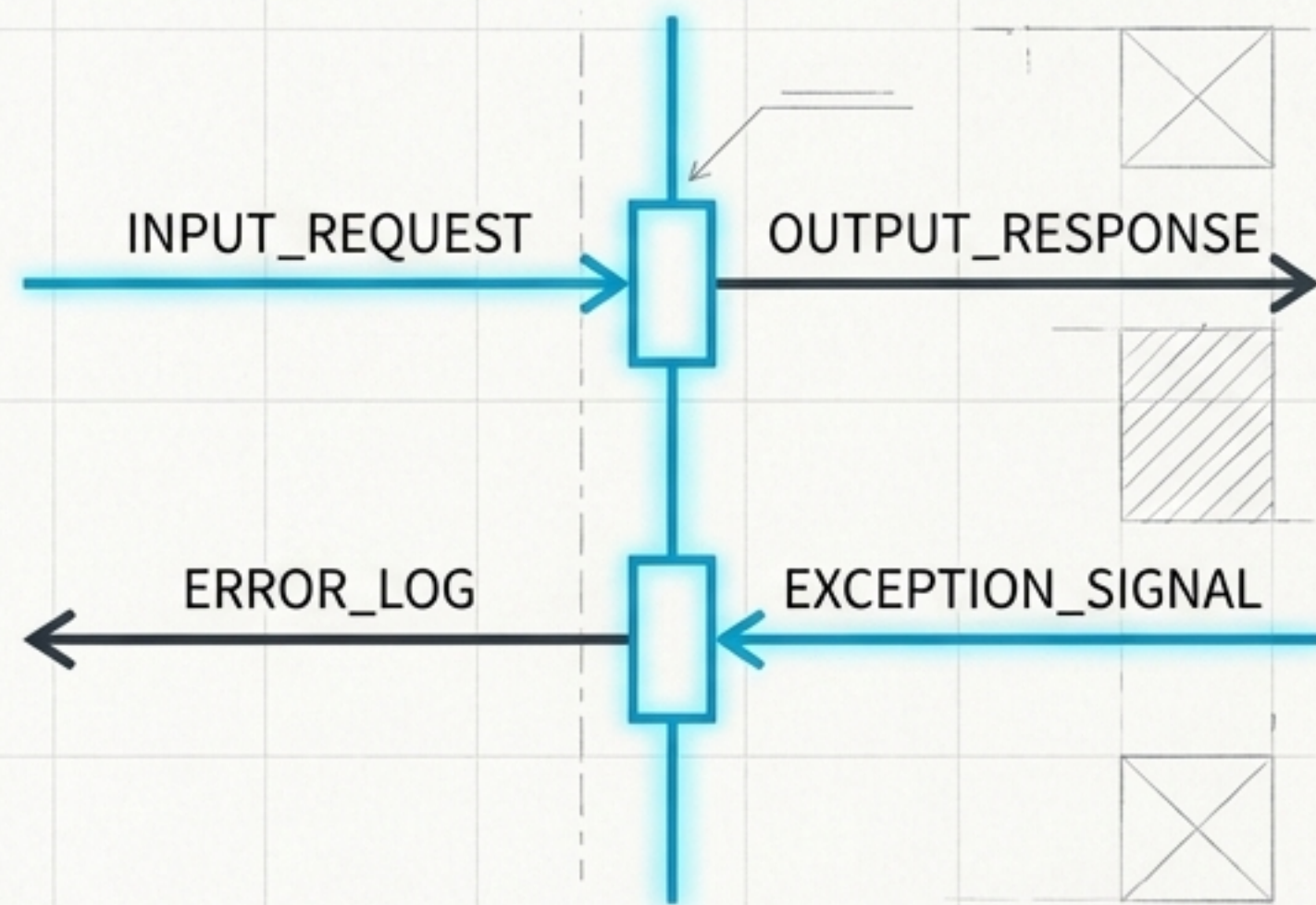
関係性の構造比較：善意 vs API

善意ベース (旧来の提携)



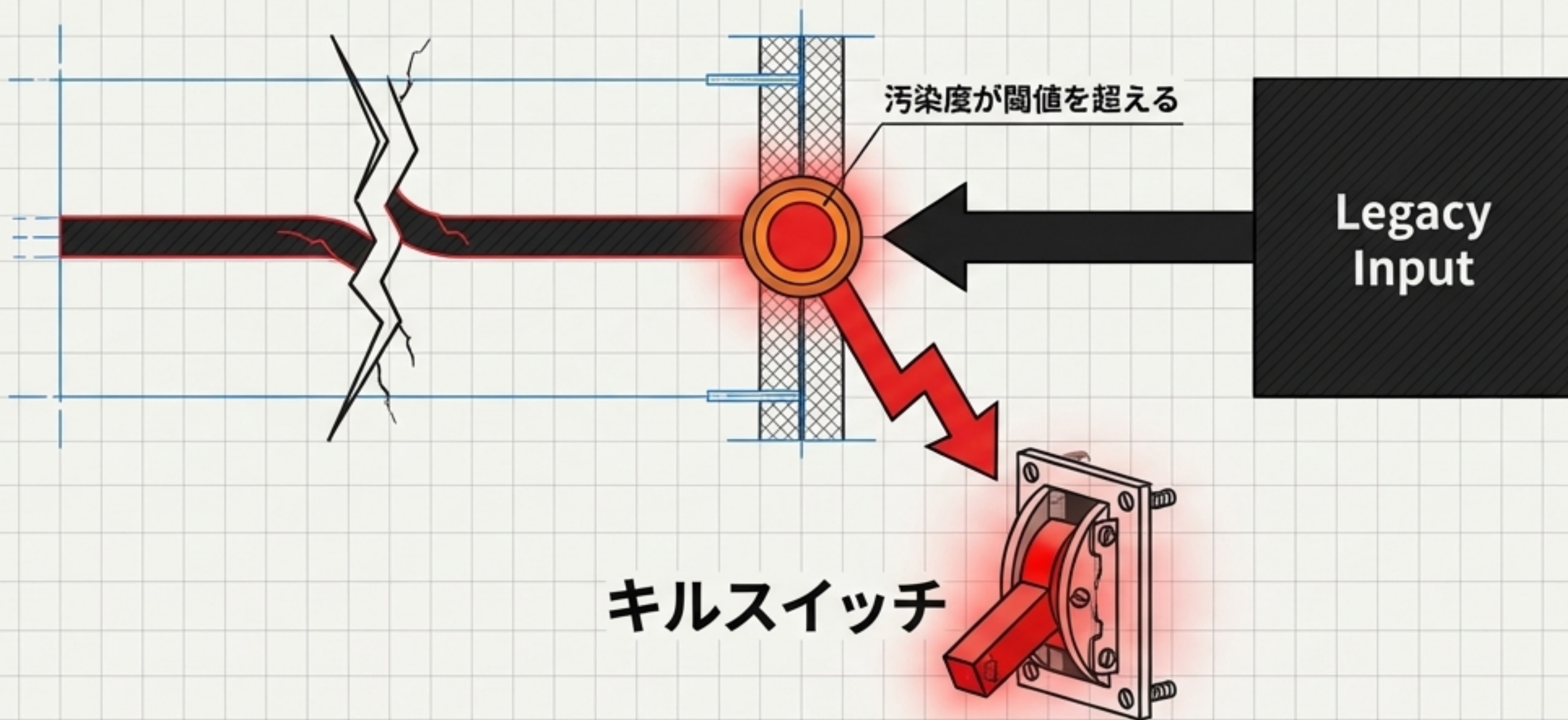
- 「相手も大変そうだから柔軟に」
- 結果: 境界が溶け、要求が肥大化し、コアが侵食される。

APIベース (中川OSの実装)



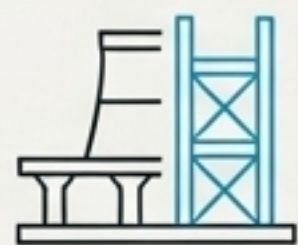
- 責任境界、入力/出力、例外処理を明文化
- 結果: 感情を排した非同期の連携。互いの論理を不可侵に保つ。

スマート・コンプライアンスと「キルスイッチ」

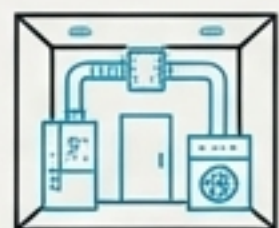


礼儀正しい断絶。依存度を高める前に、
即時停止できる条件をあらかじめ実装する。

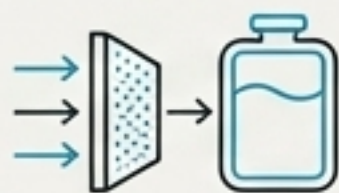
文明は、文明を“喰って”進化する



1. 巨大構造を敵視せず「環境」として扱う



2. クリーンルーム（緩衝地帯）を必ず設置する



3. 入力を洗浄し、出力を包装する



4. 善意を捨て、契約をAPIとして実装する

融合せずに接続せよ。それが次の文明を起動させる唯一の物理的手段である。